

今日はブルグミュラーについて調べました。

僕は幼稚園でピアノの演奏を聞いた日に、ピアノの音色がとても好きになりました。その日の帰り、幼稚園バスから降りてすぐにお母さんに、僕もピアノを弾いてみたいとお願いしました。

すぐにお母さんが近所の男性のピアニストの先生を見つけられました。

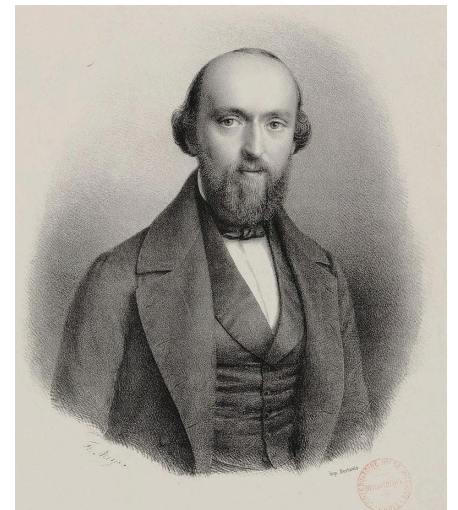
そして、お父さんが中古のYAMAHAの電子ピアノを福岡市内で見つけてくれて、両親揃って引き取りに行ってくれました。

今も週に1回、同じ先生の教室に通っています。好きなように自由にさせてくれる最高の先生です。僕はピアニストとして生きる予定がないので、今の先生は僕にぴったりです。

6月から、新しく「ブルグミュラー25の練習曲」を始めました。

ブルグミュラーが誰なのかもよく知らずに曲を弾いているので調べました。

ヨハン・フリードリヒ・フランツ・ブルグミュラーは、  
ドイツ生まれの作曲家、ピアニストで  
1806年12月4日に生まれ67年間生きました。



ブルグミュラーは両親から音楽の手ほどきを受けて育ちます。  
ピアノやチェロの演奏家、音楽教師として働き、  
26才の時にパリへ引越しました。

パリではちょうどピアノがどんどん売れていました。

市民の家庭にも、ピアノがある家が少しずつ増えていきました。

そこで求められるようになったのが。ピアノ好きな人や初心者でも楽しめる、やさしいピアノ曲集と、演奏を指導してくれるピアノ教師です。

ブルグミュラーはやがてピアノ教師として評判となり国王ルイ＝フィリップ1世の子どもたちにまで、ピアノを教えるようになりました。

バレエ音楽の作曲家としても有名になりました。

1851年(45歳の時)に僕が今使っている

「ブルグミュラー25の練習曲」が出版されました。当時、流行っていた音楽のエッセンスを取り入れて「小さな手を広げるための」という副題がつけられていることから、「小さな手」をした子どもや女性に向けた練習曲集と考えられます。曲名が変わっているものもあります。

Table もくじ

		Page.
1. La candeur	素直な心	12
2. Arabesque	アラベスク	13
3. Pastorale	牧歌	14
4. Petite réunion	子供の集会	15
5. Innocence	無邪気	16
6. Progrès	進歩	17
7. Courant limpide	清い流れ	18
8. La gracieuse	優美	19
9. La chasse	狩猟	20
10. Tendre fleur	やさしい花	22
11. La bergeronnette	せきれい	23
12. Adieu	さようなら	24
13. Consolation	なぐさめ	26
14. La Styrienne	スティリアの女	28
15. Ballade	バラード	30
16. Douce plainte	小さな嘆き	32
17. Babillarde	おしゃべり	33
18. Inquiétude	心配	34
19. Ave Maria	アベ マリア	35
20. Tarentelle	タランテラ	36
21. Harmonie des anges	天使の声	38
22. Barcarolle	舟歌	40
23. Retour	帰途	42
24. L'hirondelle	つばめ	44
25. La chevaleresque	貴婦人の乗馬	46

「ブルグミュラー25の練習曲」に2番目にある「アラベスク」は有名です。  
「アラベスク」とはフランス語で「アラビア風の」という意味で、アラビア風のからくさ模様や、きか学的模様のことをいいます。  
これが美術品や音楽、バレエなどでそれぞれに表現されました。

「アラベスク」はバレエの代表的なポーズの一つでもあります。  
片足で立って、もう一方の足を後ろへまっすぐに伸ばす動きの静かなポーズです。

弾きました。聞いてください。

今回調べてみて、ブルグミュラーは、ピアノだけでなくチェロも弾けることを知らなかったのが、驚きました。  
そして175年前に作られた練習曲の楽譜が、今でも愛され、売られていることにびっくりしました。僕は今3番目の「牧歌」を練習中です。とてもおだやかで優しい曲です。これからは、もっとブルグミュラーの気持ちになりながら、曲を弾けるなと思いました。

